

発行責任者 森越 初美

TEL 03-5320-7412(直)

内線 63-210

FAX 03-3349-1502

Eメール info@eiseikyoku-shibu.com

URL http://www.eiseikyoku-shibu.com

えいせい

1月7日福祉保健局との交渉で、定数削減と業務量が増えているにもかかわらず、人員増が無かった職場の代表がその不当性を総務部長に抗議を行いました。

東京都2011年度予算原案

衛生局支部職員定数の削減に抗議

(福祉保健局は72名の減、179名増、251名減)

都民が安心・安全に暮らせる都政の確立を!

東京都が昨年12月24日発表した2011年度予算原案(一般会計総額6兆2360億円、前年度比280億円減)は、大型開発を中心とした投資的経費は7年連続増額される一方、都民の暮らしの予算は冷たく抑えられ、福祉・医療・教育など充実のため都知事選挙の取組が重要となります。

医療ソーシャルワーカー(MSW)の削減は認められない

(竹中執行委員)

北療育医療センターは、院内感染予防体制の強化として、看護師が1名増員されました。このことは大変評価できます。

しかし、医療社会事業系のMSWが1名減となりました。昨年10月頃、入所者数とMSWの定員の比較調査があり、府中療育センターと比して、北療のMSWの定員が多い理由についての問い合わせがありました。府中療育センターの入所250床、MSWの定員4名に対し、北療は120床、MSW定員は同じ4名です。府中に比べて病床数が半分であるので、MSWを減らすと

いう、職務の実態を無視した乱暴な削減といえます。職務の内容としては、長期

入所者の動きがなく外来もない府中に比べて、毎日入院がある入院棟、外来12科、さらには通所と通園といった常に動きのある業務を抱えた北療では、MSWの業務量が大きく変わってきます。

2009年度は、年間865件の入院、864件の退院があり、外来では延47、590名(162名/日)の外来患者、1202名の新患、通所では延4、114名(17名/日)の利用、通園では延4、899名(211名/日)の利用がありました。通園では、小さい子どもを抱えた親への、療育の始まりのきめ細かい対応が必要です。

障害者自立支援やNICUにも対応するための整備が必要

さらに今後は、障害者自立支援法が改正され、またNICUからの退院促進と在宅支援の必要性が施策として整っていくなかでは、北療の担う役割は増え続け、そのコーディネートを行うのはMSWです。MSWの定数を府中の比率に合わせて削減することは、これらの北療独自のケースワークは、業務に含まれないと局が言っているに等しいです。現場の業務を理解しない、机上の空論しかありません。現行の定数でも業務が繁忙であるにもかかわらず、さらに削減すると、患者に対するケースワークが不十分となり、都民へのサービスが大幅に低下します。北療育医療センター医療社会事業系の定数を、もとの定数に復活するよう強く要求します。

退職者の皆さんへ

退職者激励会 3月1日(火)午後5時15分までに6階の控室まで

※ 記念撮影があります。

会場 中野サンプラザ(JR中野駅下車)

記念品の贈呈 今年、退職をされる組合員の方へ記念品(カタログ)を配布中です。カタログの中から選択をして、郵送をして下さい。



竹中執行委員

憲法第25条は、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の増進に努めなければならないと規定

保健所業務は、地域住民の生活を守る最前線

(佐久間執行委員)

自己責任が強調され、無縁社会と言われるように社会の中で孤立化が進んでいる現状にあって、平常時はもちろん、健康危機発生時に公衆衛生行政が果たすべき役割は、大きいと思います。

今回の人員、予算査定において、その点の判断が、どのようにされたのか大いに疑問に感じ、残念に思っています。

保健師の定数拡大は喫緊の課題

感染症対策係の保健師の増員要求については、昨年の新型インフルエンザの問題で、いくら消毒薬や防護服などの備蓄をすすめても、マンパワーが確保されなければ機能できないことが明らか

になったように、切実な要求です。感染症発生時の対応については、実際に現場に向向

いての調査や相談が重要で

す。保健所の管轄区域が広域になり、移動にかかる時間も多くなり、同時に複数の感染症発生の事例も少なくない状況で、マンパワーの確保がなければ対処困難です。

健康危機管理は平常時から予防が大切

ゼロ査定理由は地域住民に問題が起きた時に応援体制をつくって対処すれば良いという考え方だということですが、その考え方自体が、本来の健康危機管理の対応についての基本に反する

と言えます。健康危機管理対策については、平常時の発生予防の対策が重要であるとともに、いざという時に対応できる体制を確保しておくことが求められます。

日常の執行体制の不備がないように局が対応を

管轄地域が広域になってもスタッフは増員されず

多摩府中保健所は、人口100万人近くを管轄し、多摩総合医療センターのほかの感染症の拠点病院を4つも抱え、そのうえ、清瀬、八王子の小児病院が統合された小児総合医療センターを管轄し、他の地域の患者への対応も求められ、大変な状況です。局としても、増員に向けて努力されたと伺っていますので、引き続きその努力をお願いしたいと同時に、23年度の必要な執行体制が確保されるよう対応して頂きたいと思えます。

医療スタッフの欠員は即住民に影響

保健所が公衆衛生機能を果たすために、医師、保健師、歯科衛生士、診療放射線技師、栄養士など、専門職の確保が重要です。欠員の補充はもちろんのこと、新規採用を計画的に行うと共に、複数体制を確保していくことを求めます。

私は西多摩保健所に勤務していますが、保健所を統廃合して8市町村、東京の面積の3分の1を管轄することになったにも関わらず、施設は、元の1市1町を管轄する青梅保健所そのままです。施設、駐車場が狭く、事業実施において多くの困難を抱えています。きちんと機能できるように保健所の施設整備を早急に進めてほしいと思います。各保健所が広域になっている現状の中で、機動力の確保は切実です。運転手の確保は、感染症や食中毒発生時に必要不可欠です。ぜひ、保健所が地域で求められる機能が発揮できるように人員、予算の確保をお願いします。



佐久間執行委員

生協からのお知らせ

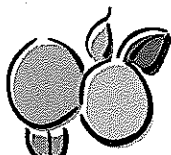
日時 きょう25日(火) お昼休み

場所 衛生局支部組合事務室

くだもの ポンカン

1kg 350円(組合員)

400円(その他)



行動日程

- ☆1月27日(木) 19時から中野0ホール春闘決起集会 JR中野駅徒歩5分
- ☆1月29日~30日 衛生局支部春闘学習会 マロウドイン八王子
- ☆1月30日(日) 12時 自治体病院交流集会 全労連会館(JR御茶ノ水駅徒歩5分)
- ☆2月4日(金)~5日(土) 大都市看護師集会 アジュール竹芝
- ☆2月10日(木) 日比谷野音 国民春闘中央決起集会
- ☆2月19日(土)~21(月) かつとびスキー 岩原スキー場